

平成22年度(2010年度)事業報告書

財団法人 高度映像情報センター

(A V C C)

自 平成22年4月 1日
至 平成23年3月31日

霞が関ナレッジスクエア(KK2)事業

I はじめに

霞が関ナレッジスクエア(KK2)は、2008年春、官民結節点である霞が関・虎ノ門地区の新しい街"霞が関コモンゲート"に、税金に依らない民設民営の"公民館"として開設されました。地域住民がほとんど居られないことから、都心に働くビジネスパーソンをメインターゲットにプログラムを企画し、「共に考え、共に学び、共に担う社会」の実現を目指し活動しています。

本事業は、PFI事業者(霞が関7号館PFI株式会社)から、無償提供を受けたスケルトン渡しの約100坪のスペースに、株式会社メディアリンクが内装/AV設備/ネットワークインフラを整備し、それを利用したプラットフォーム上で高度映像情報センターが新しい公民館活動を提供するというスキームでスタートしました。行政機関からの補助等は受けておりません。

事業活動は、KK2事業にご協賛いただくメンバー(民間企業、業界団体、大学専門学校、NPO法人、個人等)にご支援いただく協賛会費と、レンタルスペース(スタジオ/ラウンジ/交流カフェ「エキスパート倶楽部」)の貸出料を財源として実施、各事業は利用者の実費負担を原則とし、行政機関からの補助のない自立した運営を行なっています。

以下に平成22年度の事業収入と利用者数を前年度と比較した表を示しますが、リーマンショックの影響もあるのでしょうか、協賛メンバー数および協賛口数が減少しました。またレンタルスペース利用は、メンバー企業の利用の減少と、3.11以降年度末利用の多くがキャンセルになったことなどが響き、大幅に収入が減少しましたが、公民館としての主催事業は質量共に拡大し主催事業参加者は前年度より約15.7%増加いたしました。

・事業収入 (単位:円)

	平成21年度	平成22年度	差分
会費収入	9,438,000	8,199,000	△ 1,239,000
利用料収入	25,723,832	19,395,594	△ 6,328,238
自主事業収入	2,554,398	3,103,867	549,469
合 計	37,716,230	30,698,461	△ 7,017,769

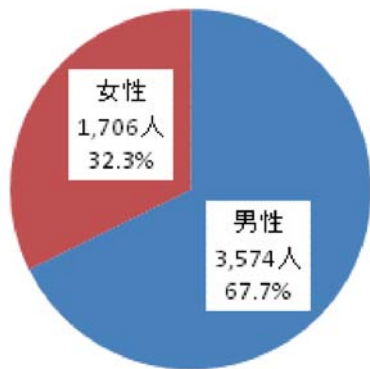
・利用者数 (単位:人)

	平成21年度	平成22年度	差分
スタジオ	6,745	5,972	△ 773
KK2主催事業参加者	(1,325)	(1,533)	(208)
レンタルスペース利用者	(5,420)	(4,439)	△ (981)
ラウンジ	2,829	3,088	259
交流カフェ・エキスパート倶楽部	16,598	15,642	△ 956
合 計	26,172	24,702	△ 1,470

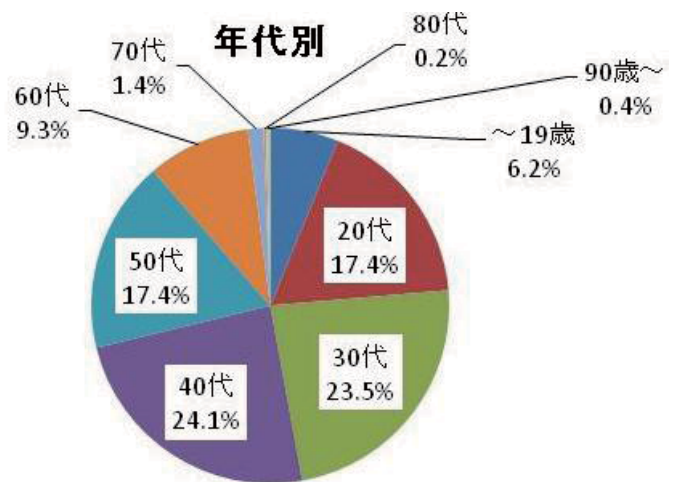
また KK2WEB サイト上のキャリア応援プログラムや文化プログラムのライブラリーを利用される WEB 会員(無料)は、今年度約 1,700 人増えて 5,280 人となりました。以下 WEB 会員の属性(性別/年代/職業)のをまとめた円グラフです。

性別では、男性が約 7 割、女性が約 3 割となっています。また年代別では、20 代、30 代、40 代、50 代がそれぞれ約 2 割と均等な割合となっており、ビジネスパーソンの世代がほとんどを占めています。

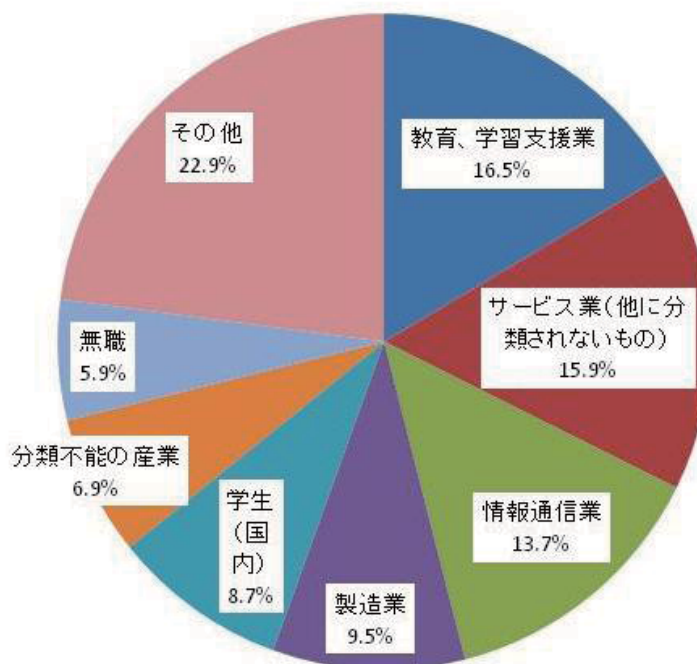
性別



年代別



業種別



II 若者やシニアを応援する「キャリア応援プログラム」の取り組み

今年度、KK2では、これから社会に出る学生や若い世代はもちろん、毎日忙しく働いている社会人、セカンドキャリアに新たな役割を求めているシニアのみなさんのキャリアを応援するプログラムを重点課題として取り組みました。社会に貢献する為に求められる力「しごと力」を、三つのコンピテンシーFeel（人間関係力）、Think（問題解決力）、Act（実行力）と、Knowledge（知識・理解）、Skill（技能）の五項目に分類し、それぞれを学べる環境を提供し、WEB会員以外の協賛メンバー様の構成員の方々にも人材育成プログラムにとしてもご活用が広がりました。

*協賛メンバー様には、組織(イントラ)内でID/PWを入力することなくコンテンツをご覧になれるIP固定サービスをご提供しています。

(1) コンピテンシー・チェック

「人間関係力」「問題解決力」「実行力」あなたのコンピテンシーをチェック

様々な分野で活躍している方々に共通のコンピテンシー（社会で活躍する人の行動特性）を研究し、「Feel＝人間関係力」（自己認識力、感情マネジメント力、共感力、コミュニケーション力）、「Think＝問題解決力」（状況把握力、原因究明力、選択決定力、リスク分析力）、「Act＝実行力」（実行力）の3カテゴリ、9項目に整理しました。コンピテンシー項目毎に開発された課題映像（ケーススタディ）を視聴し、自分ならどう考え行動するのかを記述後セルフチェックを行ないます。自分自身を理解し、必要な意識変革やのぞましい行動などを理解するとともに、よりよい行動特性を身に付けていくことを目指すチェックシステムです。

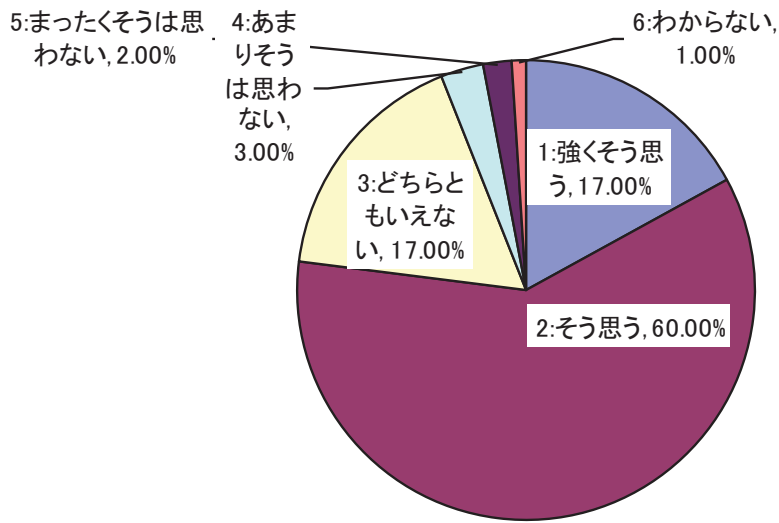
*早稲田大学等では通常授業の一環のキャリア教育プログラムとしてご活用中いただいています。一定の受講期間インターネットを通じてオンデマンドで学び、LMS(learning management system)で管理した受講履歴をご提供しました。以下のグラフは、受講後各コンピテンシー項目について「理解することができたか」アンケートした結果を示しています。

コンピテンシー・チェックアンケート結果

1. Feel=人間関係力

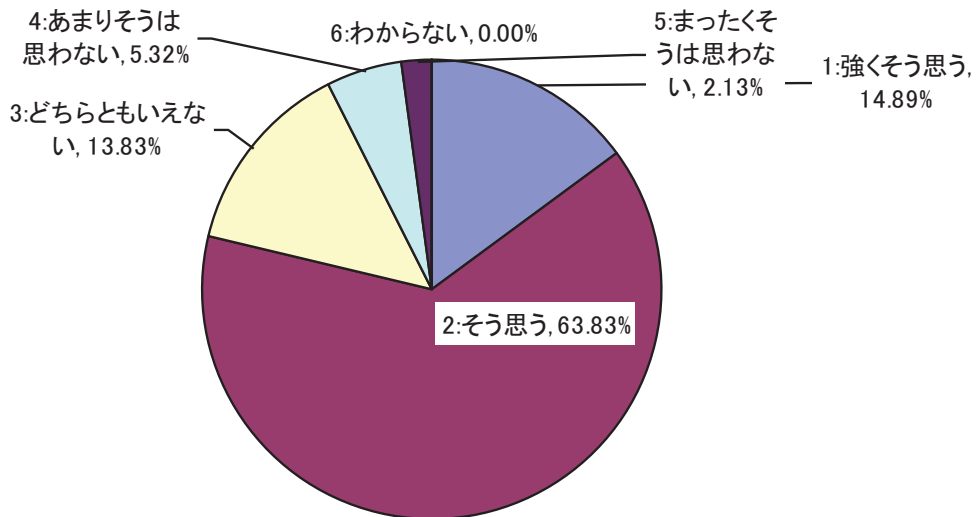
①自己認識力 : ケーススタディ「就職活動」

人間関係力(自己認識力)について理解することができた



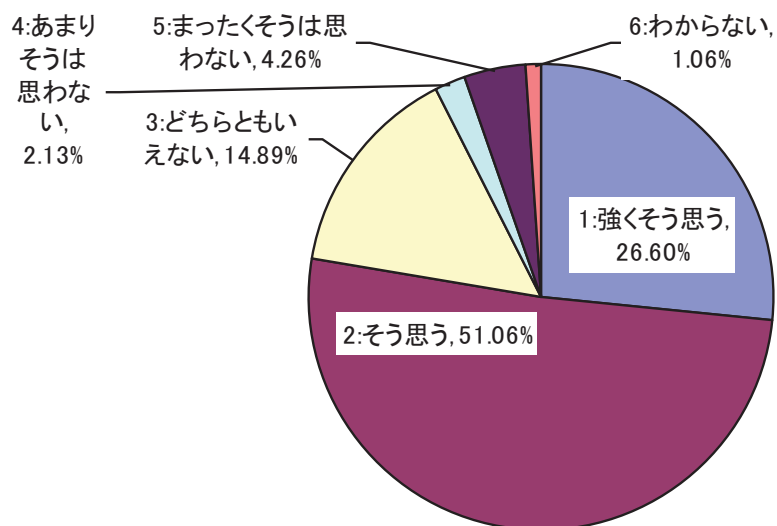
②感情マネジメント力 : ケーススタディ「年下の上司」

人間関係力(自己認識力)について理解することができた



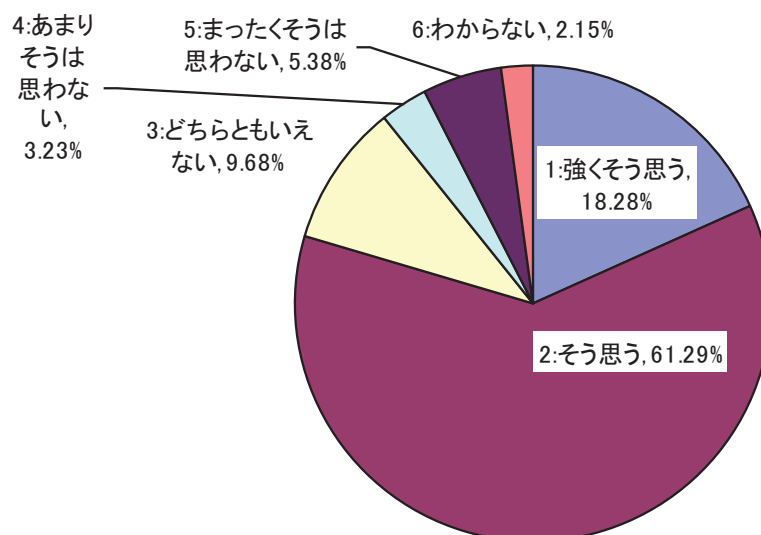
③共感力 : ケーススタディ「父親の転勤」

人間関係力(自己認識力)について理解することができた



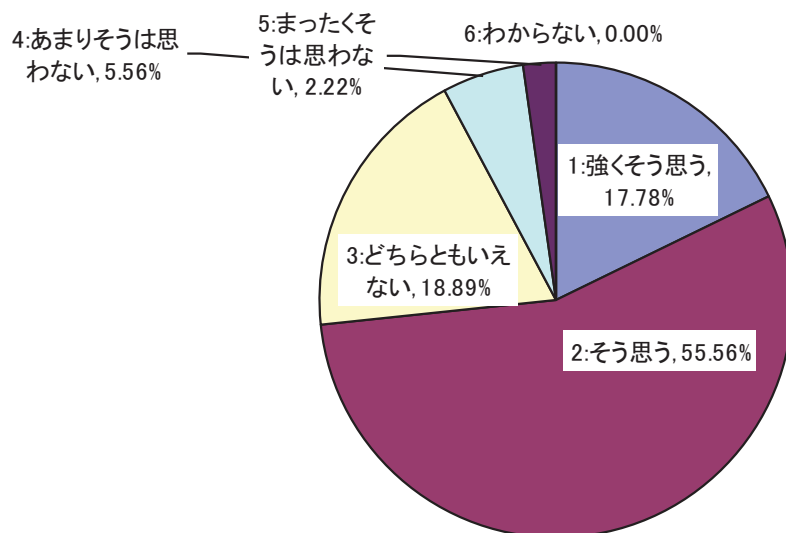
④コミュニケーション力 : ケーススタディ「バイトのシフト交替」

人間関係力(自己認識力)について理解することができた

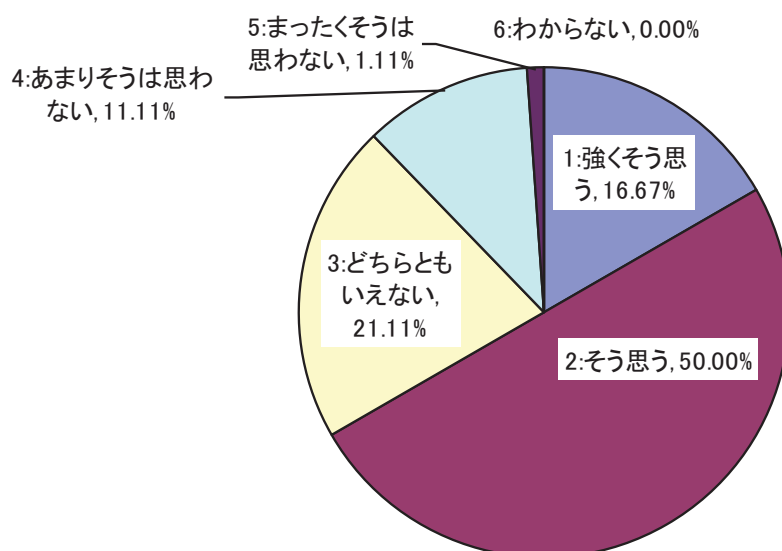


2. Think=問題解決力

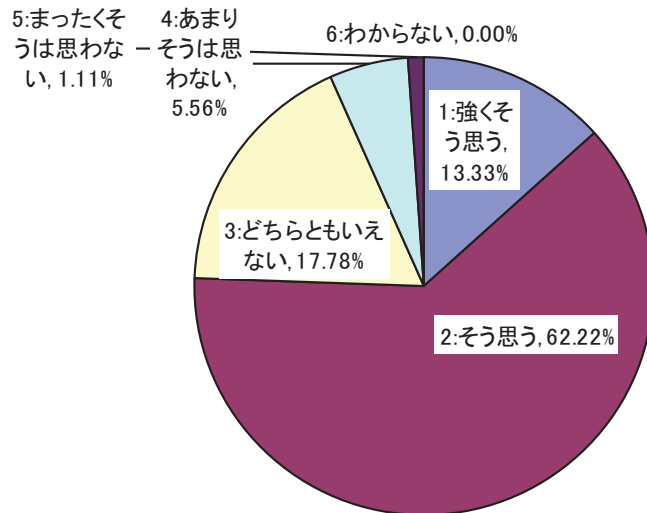
①状況把握力 : ケーススタディ「町のゴミ問題」
問題解決力(状況把握力)について理解することができた



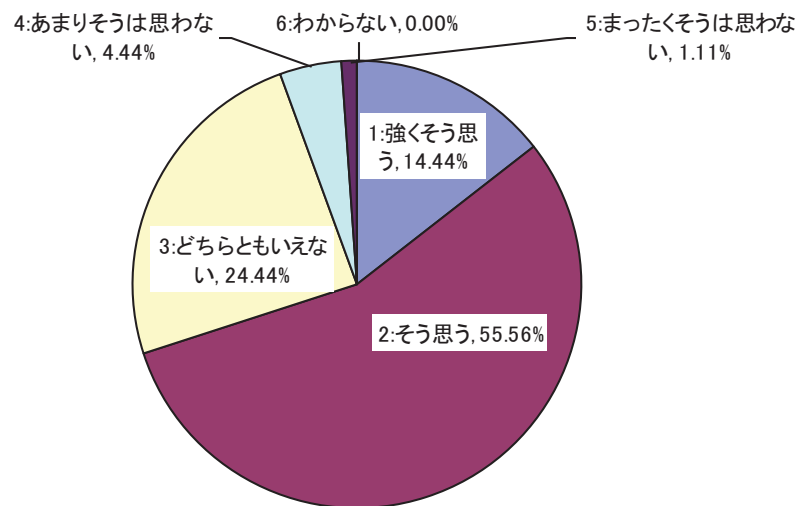
②原因究明力 : ケーススタディ「パソコン故障の原因」
問題解決力(状況把握力)について理解することができた



③選択決定力 : ケーススタディ「妹の進路決定」
 問題解決力(状況把握力)について理解することができた



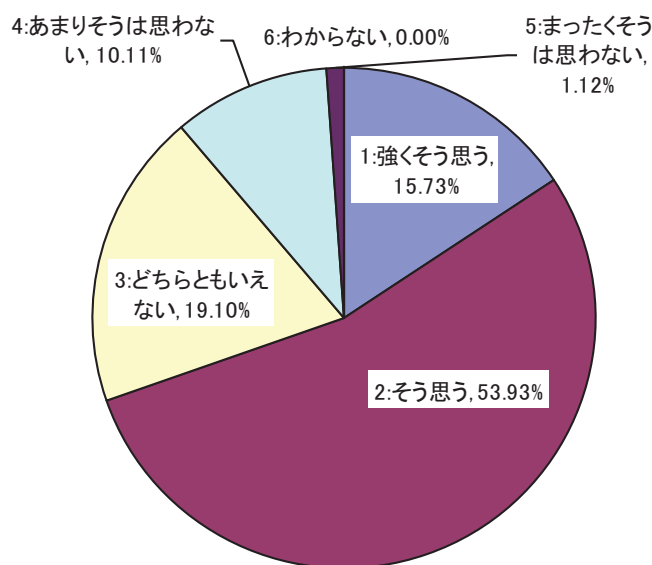
④リスク分析力 : ケーススタディ「犬小屋づくり」
 問題解決力(状況把握力)について理解することができた



3. Act=実行力

実行力 : ケーススタディ「アイスホッケーのスターになるために」

実行力について理解することができた



(2) キャリア教育番組「[エキスパート・スタジオ](#)」

社会で活躍する人のしごと力を学ぶ

「エキスパート・スタジオ」は、さまざまな分野で活躍するエキスパートをゲストに迎え「仕事とは」「働くとは」「働く喜びとは」などについて考え学ぶ、インタビュー形式のキャリア教育セミナーです。ゲストは社会人10年目程度の若い世代と、定年退職後に社会の課題解決に活躍するシルバー世代の方々。今年度で6名のエキスパートを紹介しました。収録映像はWEBコンテンツとしてKK2ライブラリで公開しオンデマンドで視聴できます。

*平成23年度のエキスパート募集中です。協賛メンバー様の組織でエキスパートとして活躍している方を是非ご紹介ください。

今年度ご紹介したエキスパートのみなさん。



山本 繁さん
NPO 法人NEWVERY 理事長



池本 修悟さん
NPO 法人
NPO 事業サポートセンター専務理事



荻原 国啓さん
株式会社ピースマインド
代表取締役社長



酒井 睦夫さん
流山市議会議員



藤原 瑠美さん
福祉の勉強会
「ホスピタリティ☆プラネット」主宰



高畑 敬一さん
NPO 法人
ニッポン・アクティブライフ・クラブ会長

タイトル	開催日時	参加者数
第7回 ソーシャルアントレプレナー 山本繁さん (NPO 法人 NEWVERY 理事長/日本中退予防研究所所長)	2010年8月20日(金) 17:00-18:15	68名
第8回 ソーシャルプロデューサー 池本修悟さん (NPO 法人 NPO 事業サポートセンター専務理事/ 新しい公共をつくる市民キャビネット事務局長)	2010年9月3日(金) 17:00-18:15	58名
第9回 ソーシャルアントレプレナー 荻原国啓さん (株式会社ピースマインド代表取締役社長)	2010年10月15日(金) 17:00-18:45	56名
第10回 地方議会議員 酒井睦夫さん (流山市市議会議員)	2010年10月29日(金) 17:00-18:45	60名
第11回 ソーシャルプロデューサー 藤原瑠美さん (福祉の勉強会「ホスピタリティ☆プラネット」主宰)	2010年12月7日(火) 16:00-17:45	49名
第12回 ソーシャルアントレプレナー 高畑敬一さん (NPO 法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ会長)	2011年1月21日(金) 17:00-18:45	55名

(3) しごと力向上ライブラリー

いつでもどこでも学べるしごとに必要な [Skill] [Knowledge]

2002年から毎月1本新作を公開しているオンデマンド学習講座シリーズ。今年度で58講座160本を公開。学校で十分に教えられていない社会で必要とされるスキル、知識をテーマにオンデマンドコンテンツを開発。年間延べ10,000人の方の受講していただいています。今年度公開した講座(6講座12単元)を含め、現在160本(58講座)公開中です。

* 講座の開発にあたっては、しごと力向上に役立つテーマに詳しい専門家の方に企画、講師役等でご協力いただいております。

* 協賛メンバー様向けに、新入社員向け教材をピックアップした E ラーニングサービスもご用意しています。実費のみの低価格でご利用いただけます。



「ビジネス基礎力としての問題解決～問題解決の工具箱～」



「ミッションを見失わず～自分のキャリアを振り返って～」



「メンタルヘルスのセルフケア～こころすこやかに生きるヒント～」



「ビジネス文書の基本」



「デジタルの仕組み」



「知って役立つ労働法」

タイトル	視聴時間
2010年4月 「 ビジネス基礎力としての問題解決 」その3「 プレーンストーミング 」	11分24秒
2010年5月 「 ビジネス基礎力としての問題解決 」その4「 仮説思考 」	16分15秒
2010年6月 「 ビジネス基礎力としての問題解決 」その5「 問題解決の工具箱 」	8分57秒
2010年7月 財団法人 AVCC 特別講演会（講師：前鳥取県知事 片山善博） 「 ミッションを見失わず～自分のキャリアを振り返って～ 」	55分37秒
2010年8月 「 メンタルヘルスのセルフケア～こころすこやかに生きるヒント～ 」	23分43秒
2010年9月 「 ビジネス文書の基本～ルール・心構え編～ 」	9分34秒
2010年10月 「 ビジネス文書の基本～ルール・例文から知る基本構成編～ 」	10分50秒
2010年11月 「 ビジネス文書の基本～ルール・宛名書きのマナー編～ 」	14分36秒

2010年12月 「デジタルの仕組み デジタル放送」	7分39秒
2011年1月 「知って役立つ労働法・労働法について」	9分40秒
2011年2月 「知って役立つ労働法・働くときのルール」	10分25秒
2011年3月 「知って役立つ労働法・安全で快適な仕事環境」	16分33秒

(4) [霞が関カウンセリングプログラム](#) (初回無料)

キャリアについてプロと相談

社会人10年目くらいまでの若いビジネスパーソンおよび高校生、大学生、専門学校生を対象とした「キャリアカウンセリング」をスタートしました。4月から毎週木曜日1日4コマ、10月より毎週火曜日にも1日4コマと拡大しました。平成23年度はNPO法人日本キャリア開発協会と提携し月～金まで1日4コマ、最大週20名のカウンセリングを予定しています。

- ・カウンセラー:伊庭野基明氏(グローバルキャリアカウンセラー・ビジネスコーチ)(木曜)
堀田治見氏(株式会社ビジネスパラダイム(日本)代表取締役)(火曜)

・実績:43名(内訳=男性23名、女性20名/学生9名、社会人34名(25~39才))

・相談内容:進学:1件、就職:11件、転職:14件、留学:2件、その他:15件

(5) 新しい公共をつくる市民キャビネットとの連携事業

新しい公共をつくる市民キャビネットとの連携事業を行ない、霞が関の公民館としての特性を活かした活動が根付いてきました。

タイトル	開催日時	参加者数
新しい公共をつくる市民キャビネット 政策フォーラム	2010年6月17日(木)	100名
内閣府「新しい公共支援事業」意見交換	2010年11月30日(火)	40名 USTREAM 配信
新しい公共をつくる市民キャビネット 協力企画 東日本大震災 学生ボランティア講習会 村井雅清氏 (被災地NGO協働センター 代表)	2011年3月29日(火)	50名 USTREAM 配信

(6) 特別企画

平成22年度には以下の特別企画プログラムを開催しました。

タイトル	開催日時	参加者数
平成22年度AVCC事業説明会&特別講演会 ミッションを見失わず～自分のキャリアを振り返って～ 講師 片山善博(慶應義塾大学法学部政治学科教授(当時))	2010年6月25日(金)	54名
自分史活用ワークショップ 第1回 「キャリアに悩む若手ビジネスパーソンの棚卸し」 講師 常見 陽平 (株)クオリティ・オブ・ライフ チーフプランナー	2010年11月4日(木)	8名
自分史活用ワークショップ 第2回 「理系系学生・ビジネスパーソンのためのWill/Must/Can」 講師 常見 陽平 (株)クオリティ・オブ・ライフ チーフプランナー	2010年11月26日(金)	7名
ゴッホの家日本事務局 共催企画 「ゴッホに乾杯！」～パリ、ゴッホの部屋の窓辺から～ 講師 中西 繁(洋画家)	2011年3月24日(木)	25名

(7)「ビジネス教材検索」(旧：しごと力向上教材ガイド)の運営

「しごと力向上教材ガイド」は、「ビジネス教材検索」と名称を変更し、教材情報提供機関等の新着教材をDBに登録する活動を続けています。

- ・情報提供協力機関数：(136 機関)
- ・登録教材数：(15,265 件)

Ⅲ 産学官連携による大学教育改革プログラム

「イノベーションプログラム」の取り組み

文部科学省の施策や全国の大学での実践的・先進的取り組みの発表の場として、これまで13回開催。KK2で開催されるプログラムの模様を全国の国公立、私立大学にライブ配信しています。参加大学は100大学にのぼっており、今年度は大学と社会との連携、産学連携、キャリア教育、就労支援をテーマに実施しました。

タイトル	開催日時	参加者数
第11回「大学連携により実現するアウトリーチ」 「横浜文化創造都市スクールを核とした都市デザイン／都市文化の担い手育成事業」 室井尚（北仲スクール代表、 横浜国立大学教育人間科学部教授） 「地域活性化型知財戦略人材育成の実践」 久米良昭（政策研究大学院大学教授）	2010年8月5日(木) 18:00-21:00	19名
第12回「産学連携により実現するアウトリーチ」 「就業力育成支援事業の背景と狙い」 神田忠雄(文部科学省高等教育局 専門教育課企画官) 「大学におけるキャリア教育の効果の現状の今後」 中村崇志(文部科学省生涯学習政策局 政策課 政策審議第二係長)	2010年11月5日(金) 18:00-21:00	65名
第13回「アウトリーチの実践の結果」 「就業力に関するPDCA」 柴田義孝(岩手県立大学 ソフトウェア情報学部教授) 「就業力育成に向けたコーオプ教育の展開」 中川正明(京都産業大学 理事)	2010年1月31日(月) 18:00-21:00	40名

IV ビジネスパーソンのリフレッシュを応援する

「KK2 文化プログラム」文化庁「霞が関から文化力プロジェクト」認定



官庁街、夜間過疎地・・・堅く無機質なイメージの霞が関。この街のにぎわいづくりの一環として古典芸能、音楽、映画、食文化などの文化イベントを実施。ビジネスパーソンが文化に親しむ機会と、交流の場を提供。毎月1回開催の若手落語家や講師による「霞が関寄席」、ワインの基本知識を楽しく学ぶ「ワインセミナー」、海外で活躍する音楽家や古典音楽などのコンサート「霞が関ミュージックサロン」などを実施しました。文化庁が推進する「霞が関から文化力プロジェクト」事業に認定され、文化庁の広報活動協力も得て事業を行ないました。

(1) ワインセミナー

ワイン伝統国であるヨーロッパはもちろん、新興国、そして日本などをテーマに、生産地やぶどうの種類、ワインの製造方法など初心者向けにわかりやすく解説するワイン講座。講師による講義だけでなく、ワインの試飲や交流会を通して楽しいひとときを企画し、ビジネスパーソンが気軽にワインの知識を身につけられる機会、異業種の交流の場の提供を行ないました。

タイトル	開催日時	参加者数
今こそ味わおう！日本のワイン ～第1回 日本のオリジナル品種 「甲州」「マスカットベリーA」を知る～	2010年6月14日(月) 19:00-20:30	23名
今こそ味わおう！日本のワイン ～第2回 日本のグローバル品種を知る～	2010年7月21日(水) 19:00-20:30	24名
ナパ・ヴァレーのプレミアムワインを味わおう！ ～第3回日本未入荷の人気ワイン12種を楽しむ～	2010年9月16日(木) 19:00-20:30	27名
ブルゴーニュ ～第4回 こだわりの作り手たちと銘醸ワイン～	2010年11月25日(木) 19:00-21:00	16名
ボルドーの名門シャトーラグランジュ 復活への挑戦 ～第5回サントリーのグローバルビジネスへの取り組み～	2011年1月27日(木) 19:00-21:00	31名

(2) 霞が関寄席

若手の落語家、講談師に高座に上がる機会を提供。ストレスの多いビジネスパーソンが伝統芸能に触れ、また笑いでストレス発散、リラックスする場を提供します。月一回開催しました。

タイトル	開催日時	参加者数
四月霞が関寄席 江戸へいざなう講談会 (神田織音)	2010年4月28日(水) 19:00-20:30	31名
五月霞が関寄席 きん歌・わか馬 二人会 (三遊亭きん歌・鈴々舎わか馬)	2010年5月26日(水) 19:00-20:30	19名
六月霞が関寄席 立川談慶霞が関独演会 (立川談慶)	2010年6月23日(水) 19:00-20:30	60名
七月霞が関寄席 きん歌・わか馬 二人会 (三遊亭きん歌・鈴々舎わか馬)	2010年7月23日(金) 19:00-20:30	18名
八月霞が関寄席 江戸へいざなう講談会 (神田織音)	2010年8月18日(水) 19:00-20:30	27名
九月霞が関寄席 きん歌・わか馬 二人会 (三遊亭きん歌・鈴々舎わか馬)	2010年9月17日(金) 19:00-20:30	15名
十月霞が関寄席 立川談慶 霞が関独演会 (立川談慶)	2010年10月27日(水) 19:00-20:30	62名
十一月霞が関寄席 鬼丸・小せん 二人会 (三遊亭鬼丸(三遊亭きん歌改メ)・柳家小せん(鈴々舎わか馬改メ))	2010年11月24日(水) 19:00-20:30	19名
十二月霞が関寄席 金原亭馬吉落語会 (金原亭馬吉・金原亭駒与志)	2010年12月15日(水) 19:00-20:30	61名
新春霞が関寄席 鬼丸・小せん 二人会 (三遊亭鬼丸・柳家小せん)	2011年1月26日(水) 19:00-20:30	17名
二月霞が関寄席 立川談慶 霞が関独演会 (立川談慶)	2011年2月23日(水) 19:00-20:30	42名
三月霞が関寄席 鬼丸・小せん 二人会 (三遊亭鬼丸・柳家小せん)	2011年3月23日(水) 19:00-20:30	15名

(3) 霞が関ミュージックサロン

アフターファイブ、都心のビジネスパーソンの方々に気軽に良質の音楽・伝統芸能に親しんでいただくためのサロンとして開催しました。

タイトル	開催日時	参加者数
第3回 「しあわせを呼ぶ声の魔法」～声の話とコンサート～ 出演：佐藤慶子（作曲家、音楽プロデューサー）	2010年4月9日（金） 19:00-21:30	57名 (交流会：45名)
第4回 「ナイス・デュオ」～フルート&ファゴットの魅力～ 出演：清水信貴（FL）、佐藤敦子（Fg）	2010年6月9日（水） 19:00-21:30	60名 (交流会：33名)
第5回 エキスパート倶楽部 「塩田 脩フレッシュネス・ヴァイオリン」 出演：塩田 脩（Vl）ほか	2010年8月4日（水） (A)18:00-19:30 (B)20:00-21:30	55名 (A:31名、 B:24名)
第6回 「西潟昭子・三絃（三味線）の世界」～お話と演奏～ 出演：西潟昭子（三味線）ほか	2010年9月24日（金） 19:00-21:30	35名
第7回 「小川和隆の十弦ギター・春のきざし」 ～バッハからポップスまで～ 出演：小川和隆（十弦ギター）	2011年3月18日（金） 19:00-20:10	19名

(4) 霞が関シアター

霞が関の公民館として、文化・科学・教育分野のインディペンデント系（自主・独立）映画の上映会を開催しています。上映会後は、映画をテーマにしたトークイベントと制作スタッフや参加者との交流会を実施しています。

*2011年3月14日「月あかりの下で ～ある定時制高校の記憶～」の上映とトークイベントを計画していましたが、東日本大震災の直後で延期し、2011年5月18日（水）に開催しました。

V メルマガ「[メッセージ from KK2](#)」発行（毎週金曜日発行）

毎週金曜日にメールニュースを発行しました。昨年 10 月より HTML メールに一新し、タイトルを「メッセージ from KK2」と致しました。

VI レンタル・スペース、遠隔教育プラットフォームのご利用

従来インターネットを活かした遠隔教育プラットフォームは、ID/PW を付与した最大 100 拠点(PC)へのライブ配信と、PC と携帯端末を用いる RA(response analyzer)を組み合わせ提供していましたが、対象となる PC は Windows に限られていました。

今年度新しいシステムを導入し、ID/PW を付与した最大 500 拠点(PC)へのライブ配信と、PC と携帯端末を用いる RA(response analyzer)を組み合わせ、Mac でも受講可能なサービスに更新しました。

今年度のレンタル・スペース、遠隔教育プラットフォームのご利用について、主なご利用スタイルをご紹介します。

(1) 複数拠点を繋いだ遠隔セミナー

[KK2 スタジオ]+ライブ配信[サテライト会場] +RA

KK2 と、全国の公民館をインターネットライブ配信で結び遠隔セミナーを実施。RA（回答集計）システムを活用し双方向なセミナーを実現。

(2) 産学官連携事業の成果発表

[KK2 スタジオ]+[収録]+[エキスパート倶楽部]

地方大学の産学官連携事業の成果発表会と交流会を実施。中央省庁や産業界から多くの方が集まり、交流も実現。成果発表会は収録し、WEB コンテンツとして提供。

(3) セミナー収録素材を使った E ラーニング教材制作

[KK2 スタジオ]+[収録]+[オーサリング]+LMS

KK2 で開催したセミナーを収録し、その素材を使って E ラーニング教材を制作、コンテンツを WEB 配信し、LMS(learning management system)で受講履歴を管理しユーザーに連携。

(4) グローバル採用、海外へのライブ会社説明会

[KK2 スタジオ]+ライブ配信[海外の大学生] +RA

日本企業に就職を目指す海外の大学生を対象に、会社説明会を開催。学生からの質問も RA(回答集計システム) で実施。アジアや米国の学生が参加。

(5) 勉強会&異業種交流会

[エキスパート倶楽部]

103インチの大型ディスプレイを使ったゲスト講師によるプレゼンテーション&質疑応答の後、交流会を開催。おいしい料理と自慢の自家焼きパン、ワインのパーティメニューで、充実した交流会を開催。

(6) セカンドオフィス利用

[KK2 ラウンジ][エキスパート倶楽部]

PC や無線 LAN 完備の KK2 ラウンジ。外出の合間にメールチェックやドキュメントの作成や打ち合わせ等にお使いいただいています。

VII オリジナルハイビジョンソフトのデジタルテレビ向けサービスの実施

霞が関ナレッジスクエア開設記念として制作したハイビジョン作品『[「江戸 TOKYO 散歩」～広重「名所江戸百景」と東京の今～](#)』について、平成 22 年 5 月 14 日よりデジタルテレビ向けの新しいネットワークサービス「アクトビラ」(株式会社アクトビラ運営)にて、期間限定無料独占ストリーミング配信およびダウンロード配信を実施しています。「冬の部」(3 作品)は 5 月 14 日配信スタート、以降 1 ヶ月ごとに「春の部」(3 作品)、「夏の部」(3 作品)、「秋の部」(3 作品)と順次公開しました。

3 月末までのストリーミング視聴回数は、「冬の部」 16,961 回、「春の部」 6,673 回、「夏の部」 7,262 回、「秋の部」 5,462 回となっています。当初、平成 22 年 9 月末までの限定無料サービスでしたが、好評につき平成 24 年 3 月末まで延長されることとなりました。

■無料ダウンロード回数

No	コンテンツ名	配信開始日	配信終了日	累計
1	冬の部	平成 22 年 5 月 14 日	平成 23 年 3 月 31 日	1,144 回
2	春の部	平成 22 年 5 月 14 日	平成 23 年 3 月 31 日	552 回
3	夏の部	平成 22 年 5 月 14 日	平成 23 年 3 月 31 日	486 回
4	秋の部	平成 22 年 5 月 14 日	平成 23 年 3 月 31 日	661 回
平成 22 年度合計				2,843 回

■無料ストリーミング視聴回数

No	コンテンツ名	配信開始日	配信終了日	累計
1	冬の部	平成 22 年 5 月 14 日	平成 23 年 3 月 31 日	16,961 回
2	春の部	平成 22 年 5 月 14 日	平成 23 年 3 月 31 日	6,673 回
3	夏の部	平成 22 年 5 月 14 日	平成 23 年 3 月 31 日	7,262 回
4	秋の部	平成 22 年 5 月 14 日	平成 23 年 3 月 31 日	5,462 回
平成 22 年度合計				36,358 回

VIII KK2 Aid Station 活動報告霞が関地区「[KK2 Aid Station](#)」

～3.11 における帰宅困難者支援～

千代田区霞が関地区は住民がほとんど居住せず、昼間人口は約 60,000 人という、極端な夜間過疎地となっており、霞が関地区を訪れる帰宅困難者数推定は 30,000 人/日（夜間休日除く）となっています。また、公民館はもちろん、学校・図書館・博物館といった社会インフラがなく、大規模災害時の避難場所指定もありません。

そこで KK2 では、都心の公民館として、首都直下型地震発生時に「Aid Station」として地域に貢献する為の整備計画を 2010 年 6 月より検討をはじめておりましたが、3.11 の東日本大震災の発生を受けて、急きょ帰宅困難者受け入れを実施しました。

3.11 地震発生後 17:00 から翌朝 10:00 迄、KK2 は、アネックス 1F「エキスパート倶楽部」と 3F「スタジオ」「ラウンジ」を開放し、帰宅困難者を支援する「KK2 AID ステーション」活動を実施しました。まだ準備途中であったため、十分な活動が行なえたとは言えませんが、延べ 300 人程度の帰宅困難者を受け入れました。

(1) 安否確認の支援

災害時優先電話の設置を検討しておりましたが、「設置は避難所限定である」（NTT 東）、「民間の避難所は必要ないため避難所に認定できない」（千代田区）ということで設置ができていませんでした。そのため、KK2 の固定 IP 電話貸出を行ないました。（利用者約 30 名）

また、携帯電話の充電についても要望があったため、KK2 および職員の充電器の貸し出しを行ないました。（利用者約 30 名）

PC や無線 LAN についても、KK2 既存の設備を無料開放しました。

(2) 災害情報の提供

当初 TOKYO ケーブルネットワークの敷設を検討しましたが、数百万円程度かかるとい

うことで断念しました。そのため **KK2** の大型ディスプレイによる地上波放送の放映を行ないました。主に **NHK** を放映しましたが、被災地の情報がメインであったため、都心の交通情報等についてはインターネットより情報を入手し避難している方々にご案内しました。今後は、**MX** テレビ等地域型の情報源や、災害伝言版サービスの告知、ラジオの準備、帰宅支援地図等の情報提供も必要と思われます。

(3) 休憩所/トイレ/水の提供

KK2 のスタジオ、ラウンジ、エキスパート倶楽部を開放しました。エキスパート倶楽部で、のべ 260 名利用、またスタジオ・ラウンジでのべ 40 名の方々にご利用いただきました。食事・飲み物の提供については、パン・スープ、あたたかい飲み物等、また寒さ対策として毛布、座布団を貸出しました。今回はライフラインが正常稼働していたため対応が可能でしたが、万が一ライフラインが断絶した場合も想定し、水・保存食の備蓄も今後必要と思われます。

(4) 今後の課題～「連携」が必須～

今回の活動を受けて、**KK2** 単独での活動にも限界があり、霞が関の街全体としての連携スキームの構築の必要性が明らかになりました。今回の経験を活かし、災害対策を速やかに行なえる組織づくり、ネットワークづくりを進めてまいりたいと思います。

①「霞が関コモンゲート」管理組合との連携

管理組合へ、帰宅困難者支援中のため、ビルの施錠をしないよう要請しましたが、申請は却下され、規定時間にシャッターが閉まりました。従って避難者の出入りには都度当方スタッフが立ち会い、セキュリティカードでの開閉が必要となりました。管理組合に有事での対応ルール作りを要請します。

② 文部科学省との連携

文科省は、22 時くらいより講堂を帰宅困難者避難場所としてマスコミに公表しました。事前に連絡が来ていれば、一時受け入れを **KK2** で行ない、避難者の人数や状況（横たわりたい人など）に応じて、避難者に告知が可能で、より有効な活動ができたと思われます。ただし、文科省側は単に部屋が用意されているだけで、安否確認や災害情報提供機能はなかったため、利用者はほんの数名だった様子です。

公的に告知されていない **KK2** に約 300 人の帰宅困難者が集まったのは、ツイッター・メールでの口コミによると思われます。

③ 霞が関の街としての連携

多くの民間企業はシャッターを閉め、また多くの飲食店も早々閉店しました。外堀通り

の歩道にあふれる徒歩帰宅者に対して、街として帰宅困難者支援するためには、それぞれ役割を事前に確認し合い協力体制を築くことが大切だと考えます。

IX 事業運営

(1) 霞が関ナレッジスクエア運営委員会の設置および運営 [2回開催]

産官学連携分野の有識者による運営委員会を設置し、定期的に運営状況の報告と事業運営について諮ります。開設3年度目の平成22年度から年2回(四半期毎→半期毎)の開催といたしました。第2回は東日本大震災の影響により、4月初旬の開催予定を5月に延期して実施いたします。

委員：渡部 俊也（東京大学先端科学技術研究センター 教授）
福田 猛（一般社団法人大学技術移転協議会 事務局長）
笹月 俊郎（独立行政法人科学技術振興機構（JST）イノベーション推進本部
知的財産戦略センター戦略企画担当）
霞が関7号館PFI株式会社（新日鉄エンジニアリング株式会社、
大成建設株式会社、東京建物株式会社、株式会社久米設計）
久保田了司（財団法人高度映像情報センター 霞が関ナレッジスクエア担当理事）
伊藤 健二（慶應義塾大学 大学院政策・メディア研究科 特別研究准教授・
霞が関ナレッジスクエア産官学連携担当主席研究員）

オブザーバー：文部科学省大臣官房会計課 管理班

事務局：(財)高度映像情報センター 霞が関ナレッジスクエア事務局

実施日：平成22年度第1回運営委員会：2010年10月6日13:30～15:30

「平成22年度上半期報告」

平成22年度第1回運営委員会：2011年5月13日9:30～11:30

「平成22年度報告、23年度計画の説明」

(2) 霞が関ナレッジスクエアプログラム開発委員会の設置および運営 [3回開催]

新規プログラムの企画・開発について有識者によるプログラム開発委員会を設置し、プログラムの検討会を行ないました。

委員：安藤 孝治（株式会社 ANA 総合研究所 業務グループリーダー）
杉本 守孝（社団法人日本能率協会 経営研究主幹）
伊藤 健二（慶應義塾大学 大学院政策・メディア研究科 特別研究准教授）
伊庭野 基明（グローバルキャリアカウンセラー ビジネスコーチ）
前田 優一（熊本県荒尾市中央公民館館長）
久保田 了司（財団法人高度映像情報センター 霞が関ナレッジスクエア担当理事）
華井 弘子（霞が関ナレッジスクエア エキスパート倶楽部ゼネラルマネージャー）

事務局：財団法人高度映像情報センター 霞が関ナレッジスクエア事務局

開催日：第 1 回 2010 年 5 月 10 日 15：00～17：00

第 2 回 2010 年 10 月 20 日 10：30～12：00

第 3 回 2012 年 12 月 7 日 15：00～15：45

X 霞が関ナレッジスクエア WEB サイト運営

霞が関ナレッジスクエアの事業活動に関する情報発信は[霞が関ナレッジスクエア WEB サイト](#)により行なっています。

平成 23 年度に予定しているリニューアルに向けて、「しごと力をまなぶ」「KK2 とコラボる」「スペース・サービス利用」という 3 種類の利用者ニーズ向けの内容に整理する作業を行ないました。

「しごと力をまなぶ」は、個人を対象に社会人として働く際に求められるコンピテンシー（社会で活躍する人の行動特性）を **Feel**=「人間関係力」、**Think**=「問題解決力」、**Act**=「実行力」に、**Knowledge**=「知識」、**Skill**=「技能」を加え、しごと力カテゴリーとして分類し、それぞれのしごと力カテゴリーごとに必要なコンテンツ情報への整理を行ないました。

「KK2 とコラボる」は、主に企業・組織を対象に、KK2 を活用して、KK2 と連携することによって可能になる企業内・組織内の人材育成・情報伝達についての情報を整理しました。

また、「スペース・サービス利用」は、主に企業・組織を対象にレンタル施設の案内・利用ガイド、メンバー制度の案内、エキスパート倶楽部の案内・利用ガイドなどの情報に整理することでリニューアルの方向付けを行ない、23 年度作業に継続しました。

現在 KK2Web サイトで学習できる講座ライブラリー数は以下のとおりです。

(*登録カテゴリが重複しているものがあります。)

KK2ライブセミナー	46
エキスパート・スタジオ	12
イノベーションプログラム	13
たおやかコンソーシアム	9
特別企画	12
しごと力向上ライブラリ	70
ビジネス	13
法律	4
健康	11
生活・文化	12
ビジネスマナー	8
ビジネススキル	13
ITスキル	6
マネジメントスキル	3
KK2文化セミナー	24
ワインセミナー	11
霞が関寄席	5
霞が関ミュージックサロン・	7
霞が関シアター	1
社会人入門講座	12
合 計	152

以上

プライバシーマーク制度の認定審査支援事業

(財)日本情報処理開発協会(JIPDEC)が普及に務めている個人情報保護に関する第三者認定制度である「プライバシーマーク認定制度」の審査認定業務を支援するため、当財団より(財)日本情報処理開発協会(JIPDEC)及び(財)放送セキュリティセンター(SARC)に対し、主任審査員2名を派遣し、審査活動を行ないました。

コンサルティング(業務支援)事業

(1) 行政機関の情報化推進支援業務

- 1) 内閣府中央防災無線網による地方自治体との情報共有化のための調査設計等業務(内閣府)
内閣府が整備している中央防災無線網は、音声及び FAX による情報連携ができるシステムでしたが、この度、映像及びデータ連携も可能な通信網にするための設計コンサルを実施しました。なお、当該通信網は、霞が関 WAN のみならず、災害時に設営される現場対策本部との連携も可能なネットワークとしました。
- 2) 鶴居村情報通信基盤施設伝送路敷設及び附帯設備工事(北海道阿寒郡鶴居村)
情報格差を是正するため、村内全域に光ファイバーケーブル網を構築するためH22年度は幹線系整備のための実施設計を行いました。実施設計を基に工事発注を実施し幹線系に光ファイバーケーブルを敷設(総距離 230Km)し、H22年度末まで施工監理を行ないました。
- 3) 鶴居村情報通信基盤施設整備施工監理業務(北海道阿寒郡鶴居村)
携帯電話基地局の開設に必要な伝送路施設を整備し、不感地域の解消と通話エリアの拡大を図ることにより、地域生活の利便性の向上と地域経済の活性化を図るため携帯電話基地局(3基)の工事に関する施工監理を行ないました。
- 4) 東京消防庁次期消防電話ネットワーク構築のための調査研究(東京消防庁)
現状アナログ回線を中心に構築されている電話網について、デジタル回線や最新システム等の技術動向の検証から、指令系や事務系ネットワークとも統合を視野に入れた最適なシステムの検討を行ない、今後の方向性をまとめました。
- 5) 都庁舎総合行事案内表示装置盤改修工事監理業務(東京都)
東京都本庁舎の総合行事案内表示装置盤の改修工事について、設備切り替えの円滑化を図るための工事監理業務を行ないました。
- 6) 東京都議会議事堂映像設備改修工事監理業務(東京都)
東京都本庁舎の議事堂映像設備の改修工事について、設備切り替えの円滑化を図るための工事監理業務を行ないました。
- 7) 上野原市次期基幹系システム導入支援業務(山梨県上野原市)
基幹業務系次期システム更新へ向けてのプロポーザル実施に伴い、RFP 資料の作成を行な

いました。第一優先交渉権者決定後は、システム開発に向けた会議の開催等に関する助言を行ないました。

8) 上野原市自主共聴組合支援・情報通信基盤整備事業(第4工区)実施設計業務及び監理業務(山梨県上野原市)

FTTH システムの伝送路設計(仕様書・図面図書・積算書)を行ないました。また、電柱共架、道路占用等の申請業務を行ないました。業者決定後は、工程会議の実施、提出書類の確認等の監理業務を行ないました。さらに、自主共聴施設の改修を希望する組合からの申請書類についての助言を行ないました。

9) 甲州市本庁舎移転改修に伴うネットワーク工事監理業務(山梨県甲州市)

甲州市本庁舎は、老朽化に伴い平成22年7月20日に、旧商業施設を改修して移転を行ないました。移転先の新庁舎において、新しい情報系システム、IP 電話システム等のネットワークシステムが正常稼働するように施工監理業務を行ないました。

10) 甲州市次期電算システム導入支援業務(山梨県甲州市)

次期電算システムのRFP(Request For Proposal)を実施するための要求仕様作成、評価選定方法を行ないました。市電算システム検討委員会において、第一優先交渉権者の確定を行なえるように、導入業者選定のコンサルティングを行ないました。

11) 甲州市勤怠管理システム構築業務(山梨県甲州市)

タイムカードの代わりとして、職員の身分証明等にも利用できるICカードを導入しました。また、新しくなる本庁舎、勝沼庁舎および大和庁舎に、正確で円滑な勤怠管理を行うための勤怠管理システムを導入し、タイムカードを廃止しました。導入したICカードは、勤怠管理以外にも、サーバ室等の入退室管理や認証等に拡張利用可能なものとししました。職員向け、操作説明会も実施しました。

12) 甲州市電算システムに関する研修業務(山梨県甲州市)

各課のITリーダー等を対象に、ネットワーク研修を年8回、電算システムのトラブル時に障害対応が可能となるように研修を行ないました。また一般職員向けには、新電算システムのEUC化に備え、エクセル研修を実施しました。

13) 甲州市電算システム運用監理及び研修業務(山梨県甲州市)

昨年度に引き続き、電算システム(基幹業務システム及び内部情報系システム)の運用に関する監理業務を行ないました。また職員向けの電算システム運用に関するセキュリティ研修会を開催し、情報リテラシー教育及び庁内ネットワークの更なるセキュリティ面の向上を図りました。

- 14) 甲州市収納事務等運用に関するアドバイザー業務(山梨県甲州市)
平成 20 年度に開始された「コンビニエンスストアにおける収納」、「郵便振替 MT サービス」、「公金収納データ作成サービス」等における収納事務の運用を円滑かつ正確に行うための監理業務を行ないました。また、税等の収納運用に関する今後の取り組みにおいても、市行政事務の動向を踏まえ、支援・助言を行ないました。
- 15) 甲州市学校教職員用パソコン整備検討業務(山梨県甲州市)
学校教職員用のパソコン導入にあたり、一人一台 PC の整備方針の検討を行ない、導入方針の作成を行ないました。また、平成 24 年度 4 月に運用できるように今後の整備目標についても検討を行ないました。
- 16) 笛吹市グリーン IP 化事業支援業務(山梨県笛吹市)
平成 21 年度に引き続き、笛吹市の基幹業務系システムのサーバ仮想化、シンクライアント化の施工監理を行ないました。
- 17) 笛吹市次期システム導入に関するアドバイザー業務(山梨県笛吹市)
次期業務系システムの導入方針を確定させ、導入計画を作成するために、RFI(Request For Information)を実施しました。RFI の実施結果及び昨年度の現状システム利用調査結果、他自治体の動向及び国県の動向より導入方針案を作成し、市等の意向を反映した導入計画を作成しました。
- 18) 笛吹市セキュリティ外部監査業務(山梨県笛吹市)
情報セキュリティ外部監査を実施し、セキュリティ上の現状の問題点、改善点について、市に助言・提案を行ないました。また、職員等に内部監査の研修会を行い、セキュリティ意識の向上を図りました。今後のセキュリティに関する中期計画(今後5年間)の作成も行ないました。
- 19) 富士川町地域情報通信基盤整備事業実施設計施工監理業務(山梨県南巨摩郡富士川町)
国が進める「IT 新改革戦略」におけるブロードバンド・ゼロ地域を解消するために、町内のブロードバンドゼロ地区の公共施設間を光ファイバーケーブルで結ぶための幹線整備の設計・施工監理を行ないました。これにより地域の行政、防災等の高度化を図り、国が進める電子自治体の実現が可能となりました。さらに、ブロードバンドゼロ地区において、民間 CATV 会社によるサービスが提供可能となるように CATV の幹線整備設計、施工監理を行い、地上デジタル放送の推進、ブロードバンドゼロの解消を図りました。

- 20) 富士川町公共施設光ケーブル引込工事設計監理業務(山梨県南巨摩郡富士川町)
町内のブロードバンドゼロ地区(平林地区、穂積地区)を解消するために光ファイバーケーブルによる幹線伝送路整備を実施しました。本業務においては、今まで地域公共ネットワークに接続されていない公共施設を、幹線光ファイバーケーブルと接続できるように引込工事の設計及び工事監理を行ないました。この整備により、地域の行政情報、防災情報の高度化を図り、国が進める電子自治体の実現が可能となりました。
- 21) 市川三郷町ネットワークシステム更新設計監理業務(山梨県市川三郷町)
地域イントラネット基盤施設整備事業において導入を行った幹線ネットワーク機器等は、構築より8年以上が経過しており、ハードウェア、保守等の面において老朽化のため更新が必須の状態でした。そのため、現状ネットワークシステムの調査・分析を行い、耐用年数、ネットワーク負荷等より更新が必要な機器を選定し、新しいネットワークシステムを再構築するため設計監理を行ないました。
- 22) 身延町開発センター内機器移設工事に関する設計監理業務(山梨県身延町)
身延町開発センターは、老朽化、耐震構造でないことから平成 22 年度内に取り壊されることになり、開発センター内の各種システムの移転を行う為の設計監理を実施しました。システムとしては、防災行政無線、基幹ネットワーク、告知システム、IP 電話器等。移転先は新たに機械室を新築し、その建物内にネットワーク機器、防災行政無線の親局、基地局を移転するための設計監理を行ないました。
- 23) 中央市 GIS 基本方針策定及び道路台帳整備データ仕様書作成業務(山梨県中央市)
市において地図データを利用する課に対してアンケートを行ない、現状分析、ニーズ把握、課題等を調査し、市における GIS 導入に関する基本方針を作成しました。また、合併前の旧3町において整備した道路台帳データについて、調査分析を行い、中央市における道路台帳を統合するための仕様書、設計書を作成しました。

(2) 防災行政無線システムコンサルティング業務

- 1) 岩沼市デジタル移動系防災無線施工監理業務(宮城県岩沼市)
防災行政無線(デジタル移動系)の施工監理業務を行ないました。
- 2) 登米市デジタル移動系防災行政無線監理業務(宮城県登米市)
260MHz 帯デジタル移動系防災無線の整備計画に伴う、現地調査、設置計画、実施設計書(仕様書・図面図書・積算書)の作成を行ないました。

- 3) 安中市デジタル同報系防災行政無線施設整備工事設計監理業務(群馬県安中市)
防災行政無線(デジタル固定系)の設計監理業務を行ないました。
- 4) 高崎市防災行政無線基本設計業務(群馬県高崎市)
60MHz 帯デジタル同報系及び 260MHz 帯デジタル移動系防災行政無線の統合整備に伴う、
基本設計業務を行ないました。
- 5) 浦安市地域防災無線設備設計監理業務(千葉県浦安市)
防災行政無線(デジタル移動系)の設計監理業務を行ないました。
- 6) 板橋区防災行政無線デジタル移動通信システム施工監理業務(東京都板橋区)
防災行政無線(デジタル移動系)の施工監理業務を行ないました。
- 7) 中野区デジタル防災無線等整備工事施工監理業務(東京都中野区)
防災行政無線(デジタル移動系)の施工監理業務を行ないました。
- 8) 世田谷区地域防災行政無線デジタル化施工監理業務(東京都世田谷区)
防災行政無線(デジタル移動系及びデジタル MCA 無線)の施工監理業務を行ないました。
- 9) 豊島区デジタル防災無線システム施工監理業務(東京都豊島区)
防災行政無線(デジタル移動系)の施工監理業務を行ないました。
- 10) 大田区デジタル防災行政無線固定系更新施工監理業務(東京都大田区)
防災行政無線(デジタル同報系)の施工監理業務を行いました。
- 11) 新宿区同報系防災無線デジタル化工事監理業務(東京都新宿区)
防災行政無線(デジタル固定系)の施工監理業務を行ないました。
- 12) 立川市デジタル地域系防災行政無線設備設計業務(東京都立川市)
260MHz 帯デジタル移動系防災行政無線の整備計画に伴う、現地調査、設置計画、実施設計
書(仕様書・図面図書・積算書)の作成を行ないました。
- 13) 町田市防災行政無線デジタル化基本設計業務(東京都町田市)
デジタル同報系防災行政無線の更新へ向け、検討結果の報告書作成、補助金申請資料の作
成を行ないました。

- 14) 甲斐市防災行政無線デジタル化整備工事施工監理業務(山梨県甲斐市)
防災行政無線(デジタル同報系)の施工監理業務を行ないました。
- 15) 甲斐市防災行政無線移動系整備基本設計業務(山梨県甲斐市)
甲斐市防災行政無線の移動系について、導入計画立案のための基本構想を策定しました。
机上回線設計、概算事業費の算定、各通信手段の比較検討等を実施しました。
- 16) 塩尻市防災行政無線施工監理業務(長野県塩尻市)
防災行政無線(デジタル固定系)の施工監理業務を行ないました。
- 17) 佐久市防災行政無線・固定系施工監理業務(長野県佐久市)
防災行政無線(デジタル固定系)の施工監理業務を行ないました。
- 18) 松川村デジタル移動系防災行政無線監理業務(長野県松川村)
260MHz 帯デジタル移動系防災無線の整備計画に伴う、現地調査、設置計画、実施設計書
(仕様書・図面図書・積算書)の作成を行ないました。
- 19) 安曇野市デジタル移動系防災無線施工監理業務(長野県安曇野市)
防災行政無線(デジタル移動系)の設計監理業務を行ない、所定の期間内に竣工しました。
- 20) 豊後大野市防災行政無線施設統合整備工事実施設計業務(大分県豊後大野市)
60MHz 帯デジタル同報系防災行政無線の整備計画に伴う、現地調査、設置計画、実施設計
書(仕様書・図面図書・積算書)の作成を行ないました。
- 21) 豊後大野市防災行政無線等統合整備工事監理業務委託(大分県豊後大野市)
防災行政無線(デジタル移動系)の施工監理業務を行ないました。
- 22) 西海市崎戸・大島地区デジタル同報系防災行政無線施設整備工事施工監理業務(長崎
県西海市)
防災行政無線(デジタル固定系)の施工監理業務を行ないました。
- 23) 西海市同報系防災行政無線(大瀬戸地区)実施設計業務(長崎県西海市)
防災行政無線(デジタル固定系)統合化の変更設計業務を行ない、現地調査・電波伝搬調査
及び変更設計書を作成しました。

- 24) 西海市アナログ移動系防災行政無線調査・設計業務(長崎県西海市)
400MHz帯アナログ移動系防災無線の移設に伴い、現地調査・電波伝搬調査及び実施設計書を作成しました。
- 25) 霧島市防災行政無線統合デジタル化工事(同報系)監理業務(鹿児島県霧島市)
防災行政無線(デジタル固定系)の施工監理業務を行ないました。
- 26) 始良市デジタル移動系防災無線実施設計業務(鹿児島県始良市)
260MHz帯デジタル移動系防災行政無線の整備計画に伴う、現地調査、設置計画、実施設計書(仕様書・図面図書・積算書)の作成を行ないました。
- 27) 始良市デジタル移動系防災無線実施設計及び監理業務(鹿児島県始良市)
防災行政無線(デジタル移動系)の施工監理業務を行ないました。

(3)教育・文化施設や企業等の施設におけるコンサルティング業務

- 1) 松戸市文化会館情報通信システム調査((財)松戸市文化振興財団)
現在配信を行っている松戸市文化会館デジタルサイネージシステムの改修に関わる調査・報告を行ないました。
- 2) 日本アムウェイ AV 設備リニューアル実施設計・施工監理(日本アムウェイ合同会社)
平成8年に竣工した日本アムウェイ本社ビルの大型映像表示システムのリニューアルに伴う実施設計、施工監理を行ないました。
- 3) 経営戦略方法と IT 技術の活用に関する調査業務委託(株式会社NTT東日本-山梨)
国内及び山梨県内における経営戦略方法とITの活用に関する調査を行ない、その報告書を作成しました。

(4)情報システム等開発及び保守業務

- 1) 研修室 AV システムの保守((独)高齢・障害者雇用支援機構)
障害者職業総合センター研修室情報機器メンテナンス業務を行ないました。
- 2) 松戸市文化会館 ホール映像収録システムの保守((財)松戸市文化振興財団)
松戸市文化会館の大小ホール、レセプションホールに設置されているホール映像収録システムの定期点検、保守を行ないました。

- 3) 松戸市文化会館 電子情報配信システムの保守((財)松戸市文化振興財団)
松戸市役所、松戸市文化会館、JR松戸駅に設置されている電子情報配信システムの定期点検、保守を行ないました。
- 4) 松戸市文化ホール デジタルビデオ編集機器の保守((財)松戸市文化振興財団)
松戸市文化ホールに設置されているPC情報機器、AVシステム、ノンリニア編集システムの定期点検、保守を行ないました。
- 5) 昭和女子大学 AVシステムの保守(学校法人昭和女子大学)
大学一号館、研究館、80年館に設置されているAVシステムの定期点検、保守を行ないました。
- 6) 愛知大学東京事務所 PC情報機器の保守(学校法人愛知大学)
愛知大学東京事務所に設置されているPC情報機器について保守を行ないました。
- 7) 松本歯科大学 AV・情報設備保守点検整備(学校法人松本歯科大学)
松本歯科大学の各会議室、教室、共有設備のAV・情報設備の定期点検及び緊急時点検業務を行ないました。

(5) プライバシーマーク取得支援コンサルティング業務

民間企業が取り組んでいるプライバシーマーク取得活動に対し、認定審査支援業務での経験を生かし、当財団の主任審査員が、JIS Q 15001 の要求事項に準拠したプライバシーマーク取得のためのコンサルティングを行ないました。

国際協力事業

1) テレビ会議システム運用業務((独)国際協力機構)

独立行政法人国際協力機構(JICA)が運用するTV会議システムの機能及び可能性を最大限に活用し、より効果的な遠隔技術協力を実現するため、遠隔技術協力に係る一連のシステムの運用業務を行ないました。

JICA本部に要員を配置し、JICA本部TV会議室、国内拠点、在外拠点に設置されたTV会議システムの運用、貸出用TV会議装置類を利用した外部施設を接続した番組配信のための運用、及び一連の共通業務を含む管理を行ないました。

教材制作事業

1) 「防火安全の知恵」DVDの制作(財団法人日本防火・危機管理促進協会)

火災による数多くの死傷者を減らすためにはどうしたらいいのか！本DVDでは、日常生活を営む上で欠かせない家庭防災の心得は言うに及ばず、公共施設での避難方法等、地域住民や第三者との避難行動を通じて学ぶことができる、火災から生命を守るための知恵を理解しやすい視聴覚教材として制作したものです。

2) Eラーニング教材制作(全国社会保険労務士会連合会)

・「年金相談実務者研修」

2009年度に制作した「年金相談実務者研修」DVDのEラーニング教材化を行ないました。本DVDは、全国各地の窓口で年金相談に対応する社会保険労務士を対象とした研修用教材です。「年金制度の現状と課題」「年金記録の管理と変遷」「年金記録問題」など13タイトルについて、PCで学習しやすい長さへの分割作業を行ない、58本制作しました。Eラーニング教材は「社会保険労務士研修システム」(全国社会保険労務士会連合会運営)で公開されています。

・「労働条件審査の実際とこれからの方向性」

昨今、労務コンプライアンスや企業の社会的責任がクローズアップされており、社会保険労務士による労働条件審査の必要性が高まっている背景や、実際の取組について理解を推進するためのEラーニング教材を制作しました。「労働条件審査のニーズと、社会保険労務士業務としての確立にむけて」「地方公共団体における労働条件審査」「IPO(株式上場)に際しての労働条件審査」の3つのテーマで7本制作しました。本教材も「社会保険労務士研修システム」(全国社会保険労務士会連合会運営)で公開されています。

以上